

広沢小学校 地域ミーティング（熟議）

学校教育の社会化

学びの場として、地域がどのように活用されるのか…

令和4年10月29日（土）
和光市立広沢小学校

1

学校教育の現在地 岐路に立たされた学校

子供たちが活躍する未来：「**予測不可能で、テクノロジーが高度化された社会**」

「**Society5.0**」「**VUCA**」【Volatility(不安定)Uncertainty(不確実)Complexity(複雑)Ambiguity(曖昧)】



- 社会が複雑化
- 「ICT」や「地域との協働」は初めて・慣れてない(大きな負担)
- 教育の質の低下(不祥事・採用選考倍率低下)
- 元々長時間労働

「学校教育」「地域社会・大人」「子供」の切り口でさらに…

2

学校教育①

学校教育の意義

自立した学習者が育つ

教師の指示がないと「何をしてよいかかわからない」子供たち

画一的・同調主義的な学校文化からの脱却

非合理的な精神論や努力主義、詰め込み教育等との間で負の循環→保護者や教師も同調圧力下！？

個別化と協働化

個の確立と、異質な他者との対話を促すことに弱さ

学校教育の意義（令和答申抜粋）



学校の臨時休業中、子供たちは、学校や教師からの指示・発信がないと、「何をして良いかわからず」学びを止めてしまうという実態が見られたことから、これまでの学校教育では、自立した学習者を十分育てられていなかったのではないかという指摘もある。



学習指導要領ではこれまで、「個人差に留意して指導し、それぞれの児童（生徒）の個性や能力をできるだけ伸ばすようにすること」（昭和33（1958）年学習指導要領）、「個性を生かす教育の充実」（平成元（1989）年学習指導要領等）等の規定がなされてきた。
その一方で、学校では「みんなで同じことを、同じように」を過度に要求する面が見られ、学校生活においても「同調圧力」を感じる子供が増えていったという指摘もある。社会の多様化が進み、画一的・同調主義的な学校文化が顕在化しやすくなった面もあるが、このことが結果としていじめなどの問題や生きづらさをもたらし、非合理的な精神論や努力主義、詰め込み教育等との間で負の循環を生じかねないということや、保護者や教師も同調圧力の下にあるという指摘もある。



学校に十分な人的配置を実現し、1人1台端末や先端技術を活用しつつ、（略）個別最適な学びを実現しながら、学校の多様性と包摂性を高める必要がある。その際、現状の学校教育における個の確立と異質な他者との対話を促すことに弱さがあるとの指摘も踏まえ、一人一人の内的なニーズや自発性に応じた多様化を軸にした学校文化となり、子供たちの個性が生きるよう、個別化と協働化を適切に組み合わせた学習を実施していくべきである。

（令和4年10月17日 中央教育審議会初等中等教育分科会 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた 学校教育の在り方に関する特別部会 義務教育の在り方に関するワーキンググループ 第1回 資料より）

学校教育②

子供たちの声

子供が進める授業。
教師はサポーター！

学校教育に対する子供たちの様々な意見



授業を構成するのは生徒であり、生徒が授業を進めていくという感覚を持たせることが必要だ。
（略）
生徒自体が授業を進めていくことによって、教師が気づかなかったことも生まれるだろうし、多様性を容れながら互いに能力を伸ばし合うことが可能となる。この中で、教師は授業が進捗に滞りのないトピックに集中しないかを監視し、時には方向性を修正するサポーターとしての役割を果たすべきである。



「好き」「夢中」を見つけるためには、様々なものに本気で触れてみるのが大切だと思います。
（略）
学校などの取り組みで様々なものに触れる機会があってもがらと触れる程度では何の意味もなく、「何が思っていたのと違ふ…」で終わります。



「個別最適な学び」にとって重要なのは「自分で自分の学びの目的やペースを自分で試行錯誤しながら見定めること」にあります。実際には生徒がこのような試行錯誤を行っていくことは難しく思います。
自分は高校生ですが、そのような試行錯誤を急にやってくれと言われても何も思いつかないし、他にもこのような状況の高校生は多いと思います。従って、大人たちが生徒たちに試行錯誤を促す機会が必要だと考えます。



僕は小学校4年生です。
今の学校で皆一斉に同じ事を同じようにする事を求められるのが苦痛です。
一斉にやられては嫌いです。
いきなり全部変わるの無理でも、ほんの少しでも新しい要素が入れば毎日目が覚めたいと思います。

大人が子供たちに「試行錯誤」の方法を教える。

同じことを同じようにするのが苦痛です！

（令和4年10月17日 中央教育審議会初等中等教育分科会 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた 学校教育の在り方に関する特別部会 義務教育の在り方に関するワーキンググループ 第1回 資料より）

地域社会・大人① 絆の喪失！？

隣の人は何する人ぞ！

- ・ お隣さんはだれ？
- ・ 子供の泣き声がするなあ？虐待か？
- ・ 隣の子どもは塾に行っているんだって？
- ・ 隣の家の犬の鳴き声がうるさい！
- ・ 塀を越えてきた柿は、うちのものだ！
- ・ 何でごみ集積所の掃除をしないの！

急速に進んだ私事化

- ・ 「オオヤケ」と「ワタクシ」
- ・ 企業戦士からマイホームパパへ
- ・ 「オバタリアン」の出現
- ・ 新人類の出現（清原・北尾）
- ・ オタク文化の認知
- ・ 恋愛恐怖症（メイドカフェ）

大熊雅士（東京都・小金井市教育長 元東京学芸大学教職大学院 特任教授の資料から）

5

地域社会・大人② 急速な高齢化

高齢化率

昭和45年(1970年) **7.1%**
 令和元年(2019年) **28.4%**
 令和47年(2065年) **38.4%**

昭和45年(1970年) **12.1人** → **2.1人** 令和元年(2019年)

1人の高齢者を支える人数

岐路に立たされた地域社会

高齢社会白書(令和2年版 内閣府)

図1-1-1 高齢化の推移と将来推計

【イギリス】
100歳を超えた人に女王メッセージカード（10年前）担当1人→担当7人（現在）

【日本】
100歳記念の銀杯、2016年以降、純銀製から銀メッキに

「LIFE SHIFT」100年時代の人生戦略
リンダ・グラットン/アンドリュース・スコット 著 池村千秋 訳 2016年 東洋経済新報社

6

子供①

自分と社会の関わりへの関心が低い



(令和4年10月17日 中央教育審議会初等中等教育分科会 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた 学校教育の在り方に関する特別部会 義務教育の在り方に関するワーキンググループ 第1回 資料より)

7

子供②

勉強することの意味を見出せない!



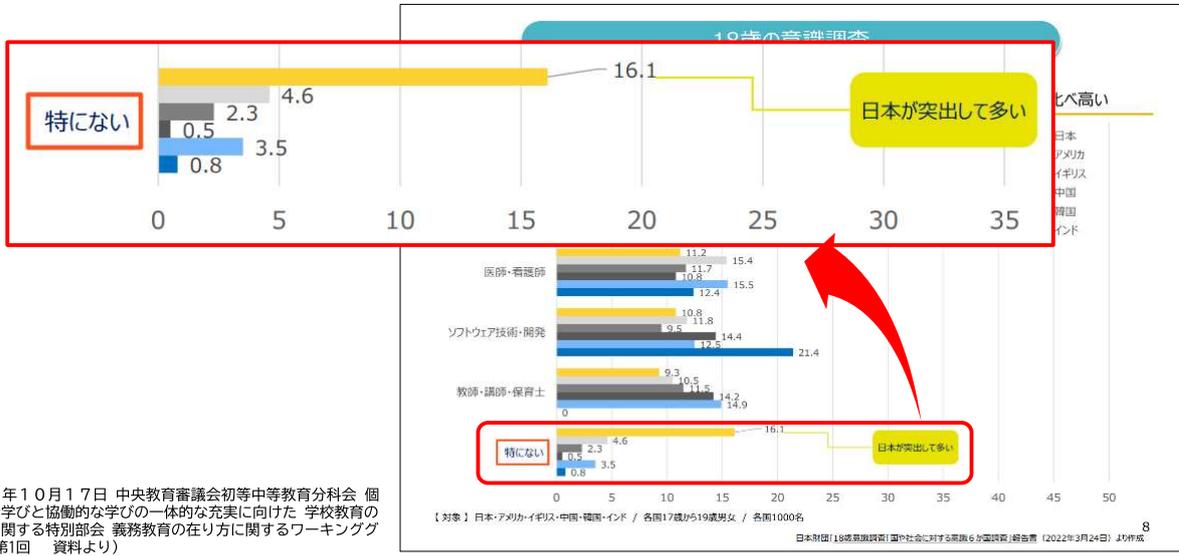
(令和4年10月17日 中央教育審議会初等中等教育分科会 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた 学校教育の在り方に関する特別部会 義務教育の在り方に関するワーキンググループ 第1回 資料より)

【対象】 日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インド / 各国17歳から19歳男女 / 各1000名

日本経済団体連合会(経団連)が実施した調査(2022年3月24日)より作成

8

子供③ 将来への夢がない！？



(令和4年10月17日 中央教育審議会初等中等教育分科会 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた 学校教育の在り方に関する特別部会 義務教育の在り方に関するワーキンググループ 第1回 資料より)

これからの学校教育に向けて



本日のテーマ

学校教育の社会化

学びの場として、地域がどのように活用されるのか…。

論点①：教職員からのアプローチ

例えば、

- クラブ活動における地域人材活用
- 総合的な学習の時間における地域課題解決
(新たな教材化)

等、可能なのか、どのようなことができそうか…など、具体的に検討してみる。

論点②：広い角度から

論点①で話し合ったこと以外に、どんなことができそうか？

